



Starfield SSL Install Manual

for
Multi-Domain & Wildcard
on
Big- IP/F5

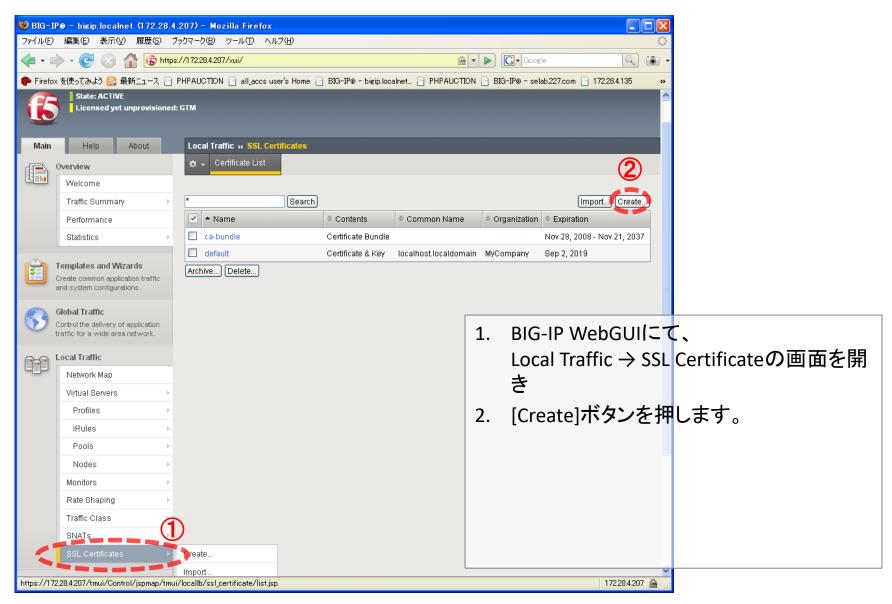
ジェイサート株式会社

CSRファイル作成手順

CSRをBIG-IP上で作成する場合は、以下の手順にて行います。

他のシステムにて作成されたサーバ秘密鍵(key), 証明書(Certificate)をインポートする場合はこの項目の手順は不要です。

CSRファイル作成手順(1)



CSRファイル作成手順(2)

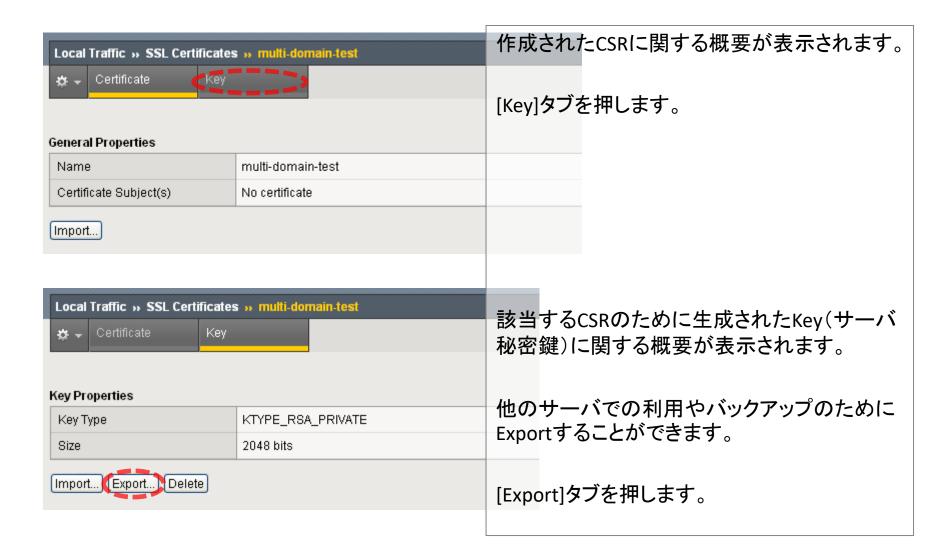


CSRファイル作成手順(3)



サーバ秘密鍵の保存(バックアップ)

サーバ秘密鍵の保存(1)



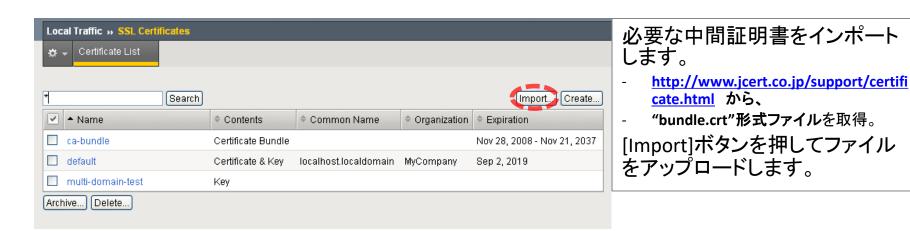
サーバ秘密鍵の保存(2)

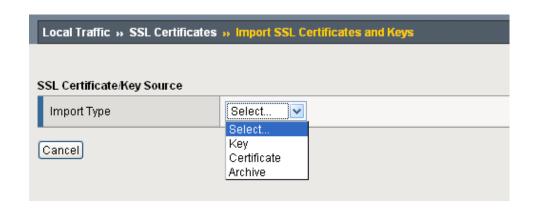


中間証明書インストール手順

(更新時には改めての設定は不要です)

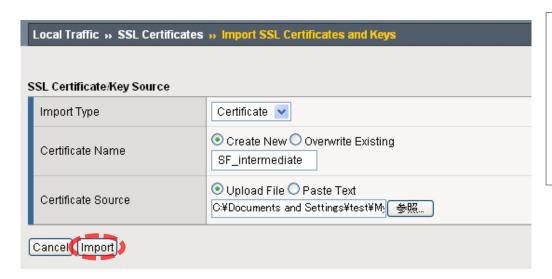
中間証明書インストール手順(1)



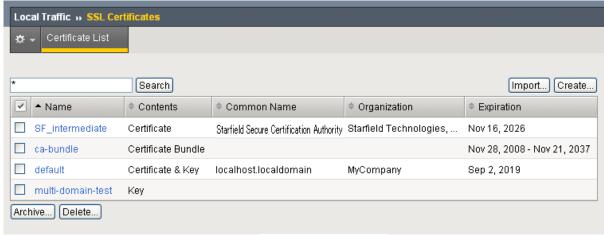


次のページにて、"Import Type" に"Certificate"を選択します。

中間証明書インストール手順(2)



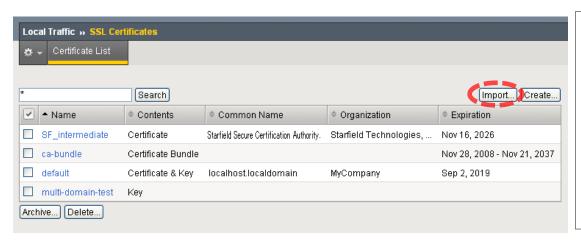
任意の"Certificate Name"を設定し、該当する中間証明書を選択。 [Import]ボタンを押してファイルをアップロードします。



SSL Certificatesの画面にて、 該当する中間証明書がイン ポートされていることと確認で きます。

サーバ証明書インストール手順

サーバ証明書インストール手順(1)



認証局より署名されたサーバ証明書をインポートします。

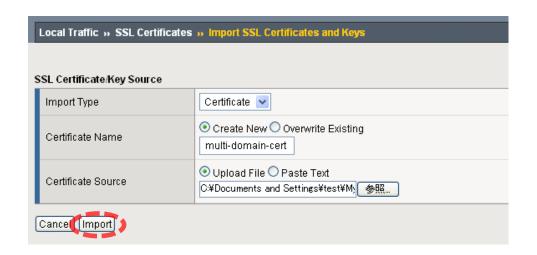
Local Traffic →SSL Certificatesの画面にて、

[Import]ボタンを押します。



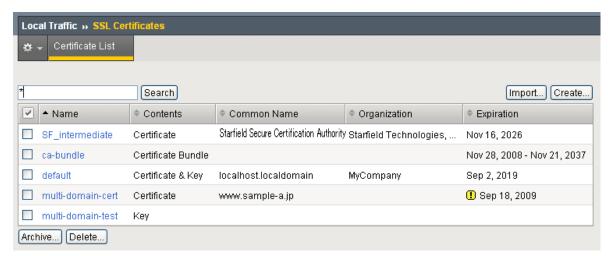
次のページにて、"Import Type" に"Certificate"を選択します。

サーバ証明書インストール手順(2)



任意の"Certificate Name"を設定し、該当するサーバ証明書を選択。

[Import]ボタンを押してファイル をアップロードします。



SSL Certificatesの画面にて、 該当する証明書がインポート されていることと確認できます。

サーバ証明書適用手順(例)

サーバ証明書適用手順(1) SSLプロファイル



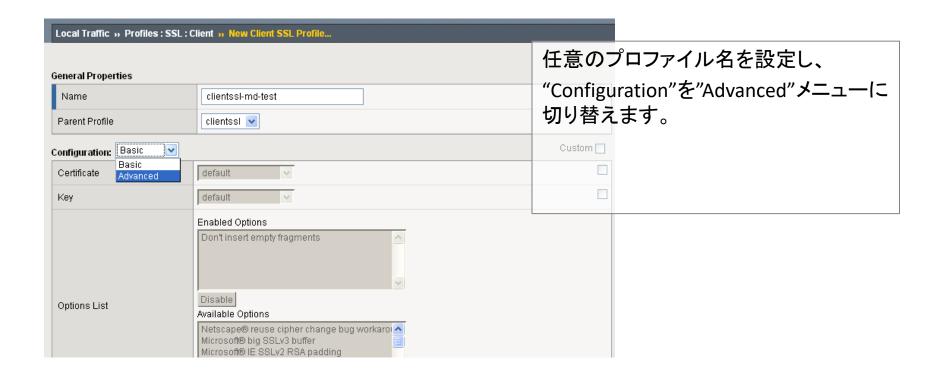
インポートしたサーバ証明書を適用する ためのClientSSLプロファイルを作成しま す。

左図のようにFly-outメニュー(v10以降の機能)から Profiles → SSL → Client → Create

または



サーバ証明書適用手順(2) SSLプロファイル



サーバ証明書適用手順(3) SSLプロファイル

必要な設定項目は以下の通りです。

各項目の右側のチェックボックスにチェックを入れることで、値の編集が可能になります。

"Certificate"

認証局によって署名され、先の手順でインポートしたサーバ証明書です。

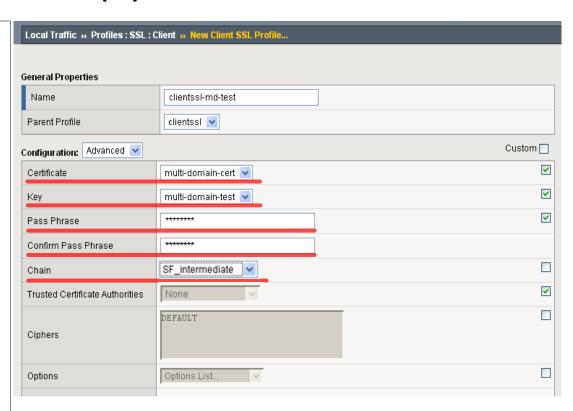
BIG-IPにインポートした際につけた名称を プルダウンメニューから選択します。

"Key"

BIG-IP上でCSRを作成した場合にはCSRと同じ名称のKey(サーバ秘密鍵)を、外部からインポートしたKeyを使う場合はインポート時につけた名前を選択します。

"Pass Phrase"

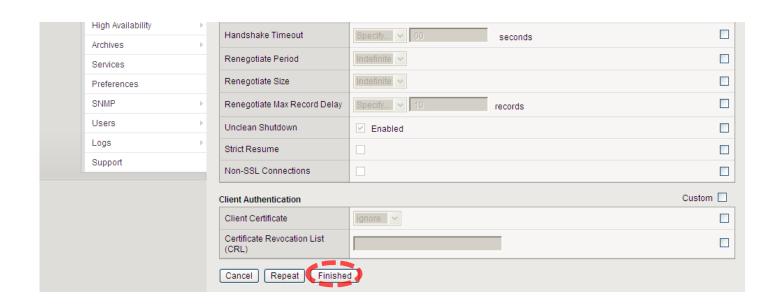
上で選択したKey(サーバ秘密鍵)を作成する際に設定したパスワードです。



"Chain"

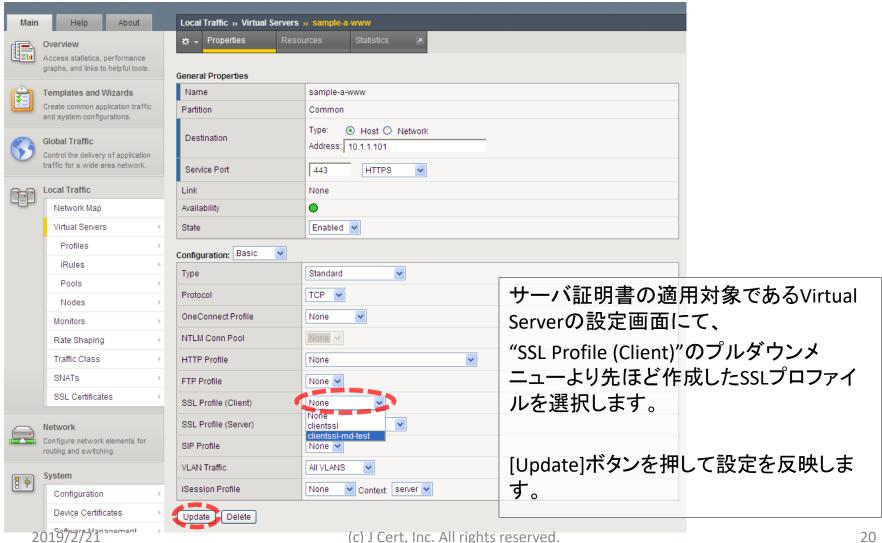
先の手順でインストールした中間証明書をプル ダウンメニューから選択します。

サーバ証明書適用手順(3) SSLプロファイル

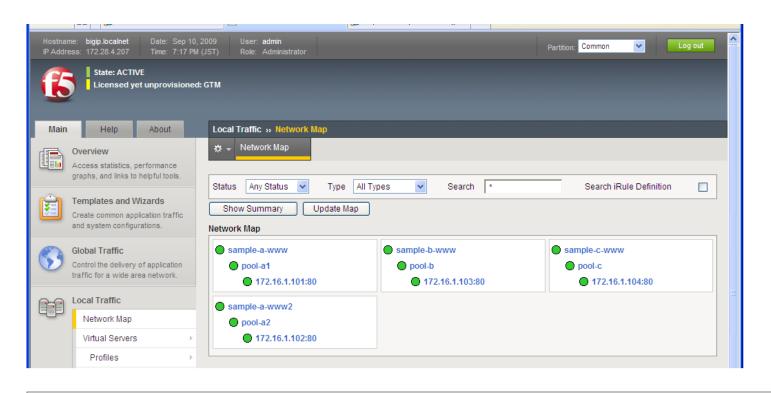


[Finished] ボタンを押してSSL プロファイルの作成を完了 します。

サーバ証明書適用手順(4) Virtual Server設定



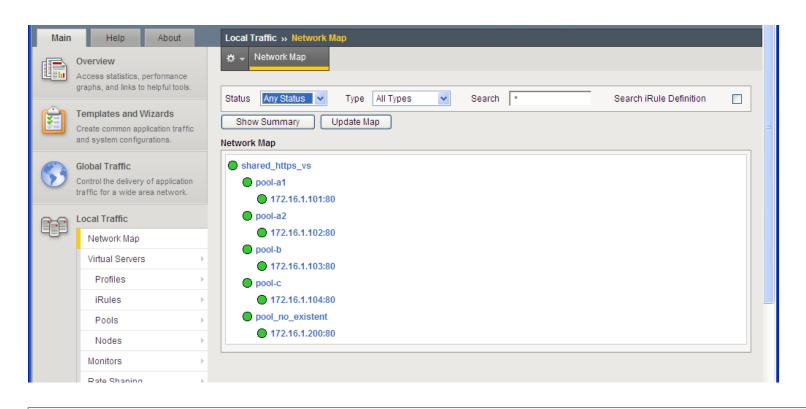
サーバ証明書適用手順(5)



MultiDomain証明書の対象となるWebサーバが個別にIPアドレスを持つ場合は、BIG-IP上でのVirtual ServerはIPアドレス(およびポート)ごとに個別に作成しますが、

- 一つのSSL証明書を複数のSSLプロファイルに割り当てる、または
- 一つのSSL証明書を一つのSSLプロファイルに割り当て、それを複数のVirtual Serverに適用することのどちらも可能です。

サーバ証明書適用手順(6)



MultiDomain証明書の対象となるWebサーバが一つのIPアドレスを共有する場合は、BIG-IP上でのVirtual Serverは一つ作成し、BIG-IPのHTTP Class機能等を用いて、リクエストされたホスト名に応じて適切なWebサーバにトラフィックを振り分けます。

この場合は、MultiDomain証明書を一つのSSLプロファイルに割り当て、それを一つのVirtual Serverに適用して利用します。